

都市再生整備計画事業 事後評価シート
第2期新玉名駅・玉名温泉・高瀬地区

平成27年1月

熊本県玉名市

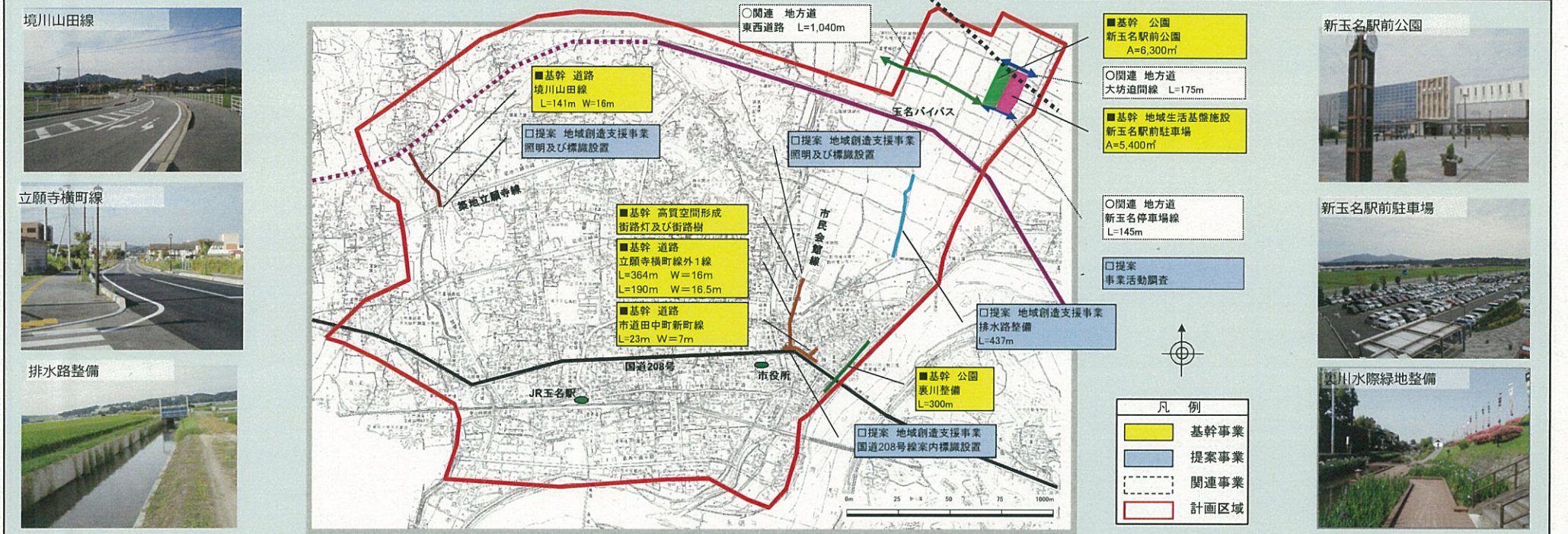
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	熊本県		市町村名	玉名市		地区名	第2期新玉名駅・玉名温泉・高瀬地区			面積	580ha		
交付期間	平成22年度～26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	502百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(立願寺横町線外1線、境川山田線)、公園((仮称)新玉名駅前公園、裏川整備)、地域生活基盤施設(駅前駐車場)、高質空間形成施設(立願寺横町線街路灯及び街路樹)										
		提案事業	地域創造支援事業(玉名平野地区排水路整備、照明及び標識)、事業活用調査(事後評価調査)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 高質空間形成施設(駅前広場モニュメント)			削除/追加の理由 政策方針の変更に伴い、事業見直しを図り、交付対象事業から削減			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし				
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道田中町新町線)			整備困難区間の整備目的がたつたため追加			影響なし				
		提案事業	地域創造支援事業(案内標識設置)			設置路線が全線供用され案内標識の設置が可能となったため追加			影響なし				
交付期間の変更	当初	平成22年度～26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	観光入込客数	人/年	1,574,407	20	1,731,000	26	1,801,882	2,222,849	○	ありなし	第1期事業において各地区とを結ぶ観光回遊ルート(道路・歩道等)の整備を行ったが、これを更に拡充するとともに、裏川整備を実施した結果、観光入込客数が増加した。	平成27年8月
	指標2	新幹線通勤、通学者数	人/年	-	21	70	26	74	107	○	ありなし	新玉名駅前の駐車場や公園整備、アクセス道路を整備した結果、目標値を上回る新幹線利用者確保することができた。併せて、駅前広場では、新たなイベントが開催され地域活性化が図られた。	-
	指標3	観光案内人(玉名人検定)合格者数	人/年	-	21	100	26	207	220	○	ありなし	観光回遊ルート(道路・歩道等)を拡充するとともに、裏川整備を実施した結果、観光案内人に対する機運が高まることし、観光案内人(玉名人検定)の合格者数が増加した。	-
	指標4										ありなし		
	指標5										ありなし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	事業を活用した新玉名駅・玉名温泉・高瀬地区の周辺整備及びアクセス整備により、市民広場でのイベント(産業祭)、新玉名駅前広場や周辺でのイベント(田んぼアート、菜の花フェスタ、夏の夜市等)が新たに開催され、地域活性化に取り組まれている。また、各拠点を結ぶアクセス道路が開通したことにより、新玉名駅周辺開発においても、民間活力による進出意欲が高まっている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	熊本県観光統計(観光入込客数)、JRプレス発表値(新幹線利用者数)、商工会実行委員会(玉名人検定)の中間検証		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●		交付期間途中に事業効果を確認することができた。モニタリング同様、継続した資料等の収集により動向を把握する。			
	住民参加プロセス	各地区における地域づくり団体と連携した雰囲気づくりや景観形成等の検討		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●		今後も地域づくり団体との連携を深め、地区の雰囲気づくりや景観形成に関する取り組みを推進する。			
持続的なまちづくり体制の構築	新玉名駅周辺をはじめ、各地区につながる賑わいを形成するための持続的な組織の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●		市民や関係団体と行政がさらに連携をしながら、新玉名駅が市民や来場者に愛され、より多くの人が集まり、そして市内一円に広がりをもせる仕組みづくりに取り組む。			

様式2-2 地区の概要

第2期新玉名駅・玉名温泉・高瀬地区(熊本県玉名市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
県北広域交流拠点である新玉名駅と中心市街地の連携による観光交流 目標1:「玉名温泉地区」と「高瀬地区」、「新玉名駅地区」の回遊性を高め観光入込客の増加を目指す。 目標2:新幹線新駅利用者の利便性確保のための施設整備と観光客利用促進のためのPR。 目標3:観光客の誘導や滞留を促進し、誰もが安全に安心して訪れることのできるまちづくりを目指す。	観光入込客数	単位:人/年	1,574,407 H20	1,731,000 H26	2,222,849 H26
	新幹線通勤、通学者数	単位:人/年	- H21	70 H26	107 H26
	観光案内人(玉名人検定)合格者数	単位:人/年	- H21	100 H26	220 H26



まちの課題の変化

- 観光面においては、「新玉名駅地区」「高瀬地区」「玉名温泉地区」を巡る観光回遊環境や裏川における魅力的な環境を構築し、観光客の滞在時間の延長と観光消費増加に寄与するインフラや安全な空間が確保された。今後は、滞在時間の延長(日帰りから宿泊)や観光消費額の増加に向けた取り組みが必要である。
- 観光案内機能については、案内標識の設置により質的に向上した。今後は、増加した玉名人検定合格者に観光ボランティアに参加いただくなどし、人的対応力をさらに強化する必要がある。
- 新玉名駅周辺においては、公園や駐車場、周辺道路の整備を実施し、通勤・通学者の利便性が向上した。今後は、玄関口としての良好な景観の形成に向けた民間開発に対する景観や土地利用の誘導を行う必要がある。また、慢性的に駐車場が不足しており対策が必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 観光地においては、美装化した道路や案内板等を適正に維持管理し、観光地を快適に回遊できる環境や観光案内機能の質的機能を維持する。さらに、建築物等の景観誘導と修景整備を推進し良好な街並みを形成する。観光客の宿泊促進と観光消費額の増加に向け、関係団体等での対策検討を支援する。
- 観光案内の人的対応力をさらに強化するため、玉名人検定合格者に対して観光ボランティアへの参加を促すとともに、終了した玉名人検定に代えて学校での観光教育等を実施する。
- 新玉名駅周辺においては、玄関口としての機能や新玉名駅へのアクセス道路の機能を維持するため、駅前の公園や駐車場、アクセス道路を適正に維持管理する。さらに、不足する駐車場対策や、民間開発に対する景観や土地利用の誘導策についても検討する。